

BMW 328 Stromlinien-Versuchswagen (ドイツ, 1937)

合理化

scale 1:43

#04028

release

03/2020

limited edition 333 pcs.



政治とビジネスの世界の間で

1930年代に、「ウインターシャール AG」のゼネラルマネージャー兼株主であったアウグスト・ロストベルクは、ドイツ帝国で最も裕福な財界人の1人になった。その息子ハインツは、1904年に生まれ、博士号を取得したビジネスマンになった。そして父親のおかげで経済的に恵まれた生活を楽しんでいた。1938年1月、彼はタイプ328エンジンを搭載したシャーシをBayerische Motoren-Werke AG (BMW) に注文した。

34歳のハインツは非常に特別なことを考えていた。彼は、アイゼナハのBMW工場から、カッセルに本拠を置くディーラー「Motorenwagen」を経由してシャーシを受け取り、そこからロイトリンゲンの有名なボディメーカー「Wendler」に直接持ち込んだ。100人近くの従業員を抱えるロイトリンゲンを拠点とするその会社は、当時流線型ボディの分野で実績のあるスペシャリストとしての評判を築いたいくつかのデザインを取り入れていた。BMW 328の下部構造では、Wendlerは非常に

快適なデザインを描き、強い曲線が特徴で、その印象的で目を引く箇所は3つのヘッドライトだった。フロント部分は多数の吸気口と、バンパーの無い仕上げ。完成したBMW 328はハインツに引き渡されたが、戦争のために彼はそれを十分に楽しむことができなかった。戦後、車はフランスで発見され、さまざまな人の手に渡り、1976年のレトロフェアでようやく公に知られるようになった。そこでBMWは「再発見」され、ドイツのBMW愛好家が現場で購入契約を締結し、頭金も収めた。しかし、突然フランスの州が問題に干渉し、ドイツへの輸出を禁止したため、ユニークなBMW 328を所有したいという大きな希望はすぐに崩壊したのだ。

おそらく、まさにフランスによるこの決定を受けて、ドイツ、特にバイエルンの政治家がそのBMWに関する問題を解決するべきだと感じた。正確な背景は明らかになっておらず、主導者は明らかになっていないが、当時のバイエルン州首相であるフランツ・ヨーゼフ・シュトラウスの名前がしばしば

言及されている。しかし、実際には、1978年に突然ミュンヘンの「ドイツ博物館」がそのユニークな328 BMWを所有することになり、現在もそこに存在する。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de